

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	スポーツ文化課		
	係名	体育係		
	記入者		電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	<b>継続</b>	(2) 事務事業 の名称	スポーツライフ推進事業(結城シルクカップ・市民各種スポーツ大会)	(3) 事業の 優先度	<b>B</b>
(4) 総合計画での位置づけ			(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	<b>主要事業</b>			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	43103	(総合計画掲載ページ)	109	会計区分	一般会計
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				
基本施策	3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進				
施策	スポーツ・レクリエーション活動環境の充実				
施策内容	各種大会の開催				
(5) 事業期間	開始 平成 5 年 月から			(8) 事務分類	自治事務
	終了 年 月まで ( カ年)			根拠法令	特になし

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外愛好者等</li> <li>・スポーツに関心のある市民等</li> </ul>	イベントの開催等により、市民相互の交流の機会を提供するとともに、心身の健全育成、生涯スポーツの振興・発展を図り、成人週1スポーツの向上を目指す。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結城シルクカップロードレース大会への補助</li> <li>・市民スポーツレクリエーション祭の開催</li> </ul>	生涯スポーツの振興・発展のため開催している。県内でも多くの自治体でマラソン大会等が開催されている。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
県内でも多くの市町村でマラソン大会が開催され、飽和状態となっている。いかに独自性をだし、参加者を確保していくか検討しなければならない。	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映
● 予算内訳	実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)
	26 年度	27 年度	28 年度
	29 年度	30 年度	
(1) 事務事業費			
事業費			
負担金補助及び交付金	3,800	3,600	
需用費	100	154	
使用料及び賃借料	15	91	
報償費	0	54	
合計	3,915	3,899	
財源			
国庫支出金(千円)			
県支出金(千円)			
地方債(千円)			
その他特定財源(千円)			
一般財源(千円)	3,915	3,899	
合計(千円)	3,915	3,899	
補助・起債制度名			

#### 4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
<b>(1) 活動指標（実施した事業の内容）</b>							
指標名	シルクカップロードレース大会の補助	目標値		1	1	1	1
		実績(見込)値	1	1			
	スポーツレクリエーション祭の開催	目標値		1			
		実績(見込)値	1	1			
<b>(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）</b>							
指標名	シルクカップロードレース大会参加者数	目標値		3,300	3,300	3,300	3,300
		実績(見込)値	3,175	3,300			
		達成率	96.2 %	100.0 %			
	スポーツレクリエーション祭の参加者数	目標値		700	750	800	850
		実績(見込)値	545	700			
		達成率	64.1 %	82.4 %			

#### 5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。  
 シルクカップロードレース大会は、実行委員会で参加者の満足度アップのため、26年度大会よりネットタイム計測、時計表示の変更等を実施。  
 スポーツレクリエーション祭は、市総合型地域スポーツクラブの協力を得るなど、より多くの方が楽しめるよう、実行委員会で検討した。

#### (2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	B	どちらとも言えない	市は地域の特性に応じた施策を策定し、実施する責務があるが、マラソン大会は、どの市町村でも開催しており、マラソン飽和状態となっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	一般的であり、特に問題はない。
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	県内でも多くの市町村で実施しており、一般的ではある。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	各イベントとも、ほとんどをボランティアで運営しているため、コストは抑えられている。ただし、マラソン大会は参加者満足度アップのため、委託経費が増大傾向にある。
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	オープン参加であり、公平性に問題はない。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	参加者はシルクカップは横ばい、スポレク祭は減少している。
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	概ね計画どおりであるが、スポレク祭は参加者の増加を図り、成人週1スポーツを推進する必要がある。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

- ・シルクカップロードレースは概ね計画どおりであり、経費の見直しを行いながら、今後も参加者の楽しめる大会となるよう実行委員会で改善しながら実施する。
- ・スポーツレクリエーション祭は、実行委員会を開催し、いっそう集客できる内容とする必要がある。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

実行委員会で検討し、改善する。

#### 6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	<b>改善・改革しながら継続</b> (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	<b>改善・改革しながら継続</b> (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	各種大会は、その趣旨に沿って開催している。また、反省会等での検討を踏まえて翌年度に反映するなど、柔軟に対応している。スポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康づくりに努め、成人週1スポーツを推進する。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。